

令和5年度シラバス（公民）

学番76 新潟県立糸魚川白嶺高等学校

| | | | | | |
|--------|-------------------|-----|-----|--------|---------|
| 教科（科目） | 公民（公共） | 単位数 | 2単位 | 年次（系列） | 2年次必修科目 |
| 使用教科書 | 実教出版『公共』 | | | | |
| 副教材等 | 東京法令出版『テーマ別資料 公共』 | | | | |

1 学習目標

- ・考察・選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。また、諸資料から、必要な情報を調べまとめる技能を身に付ける。
- ・現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、構想したことを議論する力を養う。
- ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。また、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

2 指導の重点

- ・高校生としての自己と他者の関係について客観的に見つめ直すとともに、高校卒業後の自分自身の在り方生き方について、主体的に考えることを目指す。
- ・現代の日本社会・国際社会が直面する諸課題について、望ましい解決のあり方を積極的に発言することを目指す。

3 評価の観点の趣旨

| a 知識・技能 | b 思考・判断・表現 | c 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| 考察・選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。また、諸資料から、必要な情報を調べまとめている。 | 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断し、その過程や結果を様々な方法で表現しようとしている。 | よりよい社会の実現を視野に、有用な情報を適切に選択し、効果的に活用して、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 |

4 評価方法

| | | | |
|------|--|--|---|
| | 評価は次の観点から行います。 | | |
| | a 知識・技能 | b 思考・判断・表現 | c 主体的に学習に取り組む態度 |
| 評価方法 | 以上の観点を踏まえ、 ・小テスト、定期考査の分析 ・ワークシートや提出物の内容確認 などから、評価します。 | 以上の観点を踏まえ、 ・小テスト、定期考査の分析 ・ワークシートや提出物の内容確認 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 などから、評価します。 | 以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・ワークシートや提出物の内容確認 などから、評価します。 |
| | 内容のまとめりごとに、各観点「A：十分に満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとめりごとの評価規準は授業で説明します。 | | |

5 学習計画

| 月 | 単元 | 教材名 | 学習活動（指導内容） | 時間 | 評価の観点と評価方法 |
|--------|-----------------|--------------------------|---|----|--|
| 前 期 | 社会を作る 私たち | 教科書 資料集 ワーク シート | <ul style="list-style-type: none"> ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であることを理解する。 ・人間は、伝統や文化、先人の知恵に触れることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができる存在であることを理解する。 ・社会参画する自立した主体とは、孤立ではなく、様々な集団の一員として生き、他者との協働により国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現する。 | 5 | ワークシート （記述の確認） a, b, c 小テスト・定期考査 （結果分析） a, b, c |
| | 人間として よく生きる | 教科書 資料集 ワーク シート | <ul style="list-style-type: none"> ・行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 | 6 | 発言・発表・討論の様子 （行動の確認） a, b, c |
| | 他者とともに 生きる | 教科書 資料集 ワーク シート | <ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすためには、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、重要であることについて理解する。 ・自分自身の人間としての在り方生き方について、多面的・多角的に表現する。 | 5 | |
| | 民主社会の 倫理 | 教科書 資料集 ワーク シート | <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由 ・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解する。 ・個人と社会との関わりについて多面的・多角的に考察し、表現する。 | 6 | |
| | 民主国家の 基本原理 | 教科書 資料集 ワーク シート | <ul style="list-style-type: none"> ・個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解する。 | 5 | ワークシート （記述の確認） a, b, c |
| | 日本国憲法の 基本的性格 | 教科書 資料集 ワーク シート | <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法が保障する基本的人権の意義と内容について理解する。 ・変化する社会に対応して、基本的人権をどのように広げていけばよいのか考察し、表現する。 ・日本国憲法の平和主義の理念をふまえたうえで、今後の国際社会において国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察し、表現する。 ・三権の働きと互いの関係、地方自治制度について、そのしくみを理解し、課題について考察する。 | 6 | 小テスト・定期考査 （結果分析） a, b, c 発言・発表・討論の様子 （行動の確認） a, b, c |

| | | | | | |
|--------|-----------------------------|--------------------------|--|---|--|
| 後 期 | 日本の政治機構 と政治参加 | 教科書 資料集 ワーク シート | ・マスコミ・選挙制度・政党政治の現状 を理解したうえで、望ましい政治のあり 方や国民の政治参加のあり方を考察し、 表現する。 | 4 | ワークシート (記述の確認) a, b, c 小テスト・定期考査 (結果分析) a, b, c 発言・発表・討論の様子 (行動の確認) a, b, c |
| | 現代の経済社会 | 教科書 資料集 ワーク シート | ・資本主義経済の特徴である市場機構の しくみを理解し、問題点を考察する。 ・金融と財政の意義と役割について理解 したうえで、課題について考察し、表現 する。 ・各種経済指標の特色とともに、経済成 長と景気循環の概念を理解する。 | 4 | |
| | 日本経済の特質 と国民生活 | 教科書 資料集 ワーク シート | ・戦後日本経済の発展と変容について理 解する。 ・中小企業問題・農業問題・公害・消費 者問題について、課題を考察し、表現す る。 ・労働者の権利について理解するととも に、雇用や労働慣行の変化と課題につい て考察し、表現する ・日本の社会保障制度のしくみを理解し たうえで、今後の社会保障制度のあり方 について考察し、発表する。 | 6 | |
| | 国際政治の動向 と課題 | 教科書 資料集 ワーク シート | ・国際法の意義と役割について理解す る。 ・国際連合のしくみについて、国際連盟 と比較しながらその特色を考察し、表現 する。 ・二次世界大戦後の国際政治の動向につ いて理解する。 ・冷戦後の国際社会における諸課題を理 解し、その解決について考察し、表現す る。 | 8 | |
| | 国際経済の動向 と課題 | 教科書 資料集 ワーク シート | ・国際経済を貿易の面から捉え、国際分 業と自由貿易の意義および国際収支と外 国為替の基本的しくみを理解する。 ・第二次世界大戦後の国際経済秩序につ いて、その成立と変容を理解する。 ・国際経済と日本経済の関係について理 解するとともに、国際経済の中で日本が 果たすべき役割について考察し、発表す る。 | 9 | |
| | 持続可能な社会 づくりの主体と なる私たち | 教科書 資料集 ワーク シート | ・地球環境問題および民族問題につい て、個々の問題の内容や現状を理解し、 解決に向けての方策を考察し、発表す る。 | 6 | |

計 70時間 (50分授業)

6 課題・提出物等

- 1ヶ月に1～2回の確認小テストを実施。
- 定期考査時に授業ノートを提出。
- 長期休業中の課題は別途指示。

7 担当者からの一言

- 現実に社会で起きている事象に目を向け、関心を高めよう。そのためにも、毎日、テレビニュースを見たり、新聞を読んだりしよう。
- 授業に集中し、わからないところは積極的に質問しよう。

(担当：山田 猛)